

『改訂 デジタル移動通信の電波伝搬基礎』 正誤表

このたびは本書をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書には下記のような誤りがありました。ここに訂正し、謹んでお詫び申し上げます

頁	箇所	誤	正
2	図1.1中	復合化	復号化
49	式(3.53)の1行下	独立な二つ変数の	独立な二つの変数の
128	14行目	$K < 0$ dB	$K > 0$ dB
203	下1行目	伝搬を	情報伝送を
205	7行目	情報量(通信路容量)の限界は	情報量の限界(通信路容量)は
217	下7行目	通信路容量定理	通信路容量しぼり
230	図9.18図タイトル中	$N \times N$ MIMO	$M \times M$ MIMO
262	図9.36横軸の単位	[MHz]	[GHz]
263	図9.37縦軸の単位	[μ m]	[μ s]
300	9行目	inter-channel	inter-carrier
310	5行目	解して	介して
310	下7行目(文献番号)	示してみたい。	示してみたい ²⁵⁾ 。
311	下3行目	条件式(10.55)	条件式(10.56)
331	参考文献 8章24)中	信学技報 A.P2014-188 (2015.2)	信学論(B), J99-B,6(2016)
333	参考文献 9章27)中	大規模, そこから見えてくるもの, 信学 技報 A.P2014-171(2015.1)	マッシュブ, 信学論(B), J99-B,9(2016)